



# SPACECLAIM CORPORATION

～ユーザーストーリー～

## Keuka Studios社がオーダーメイド手すり製品のコンセプト設計にSpaceClaimを適用

### ■ 導入企業について

Keuka Studios社は、2002年に創業したケーブル手すりや鉄製手すりなどを製作する鉄製品加工会社です。デザイン性の高い顧客の望むサイズの特注品をインターネットを利用して製作しています。

Keuka Studios社HP：<http://www.keuka-studios.com/>

### ■ SpaceClaim導入の背景

Keuka社の製作過程では手書きの概念スケッチから始まり、設置する場所の背景写真や製品のレンダリングされた実物に近い画像を3次元モデル上に反映させていきます。

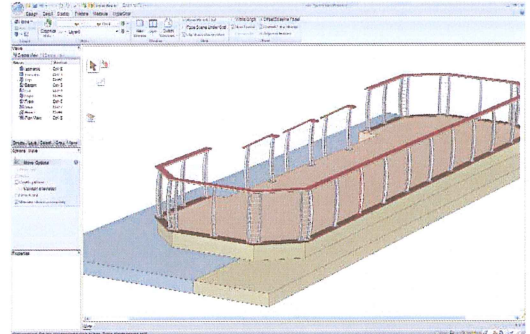
しかし、デザイン性の高い作品が要求する、自由で臨機応変なモデリングをする場合、既存のヒストリーベースのCADシステムでは様々な制約を受けるため、一旦CADシステムから外れて構想設計を行う必要が生じ、このために多くの時間を費やしてきました。

また、既存のデザインを再利用しながら創造性高く、且つ効率的、低コストでの製作を実現するため3次元ダイレクトモデラーSpaceClaimが選定されました。

### ■ SpaceClaim導入の効果

SpaceClaimによって既存及び新規の設計編集することによって、以下の効果がありました。

- 1) SpaceClaimの各種出力サポートによって、フィーチャベースCADでは困難であったが、コンセプト設計用に既存コンポーネントを再利用できるようになった
- 2) SpaceClaimの自由自在な断面表示による設計環境によって、2次元、3次元環境を行き来したデザイン性の高い設計が可能になった
- 3) 製造現場では、無償配布されるSpaceClaim Viewerの利用を促進し、設計から受け取った部品の各種寸法情報からプラズマ切断加工が可能になった
- 4) SpaceClaim からACISベースのCAMと互換性のあるファイルを作成し、サプライヤーとのデータ共有を容易にした
- 5) GoToMyPc(リモートアクセスWEBサービス)を使ってデザインを顧客と共有し、更に顧客の要求するダイレクトな設計変更もWEB上で行うことができた



SpaceClaimでモデル化したステンレス製ケーブル手すり



施工されたステンレス製ケーブル手すり

“私はSpaceClaimのGUI(モデルとの対話環境)に満足しています。何かの操作をする際、うまく意図どおりに動くかどうか確認するために十個のボタンを探して実現させるのではなく、SpaceClaimのGUIを利用して望みどおりの変更を形状に対して直接的に行い、その動作を確認しています。そしてこのモデルとの対話によってコマンドを理解することの方がずっと簡単なのです。”

～Keuka Studios社 Dan White氏～

※ 製品開発元: SpaceClaim Corporation

## CYBERNET

サイバネットシステム株式会社

アドバンスドソリューション統括部 新事業推進室 PLMグループ

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフトビル

Tel:(03)5297-3247 Fax(03)5297-3637

<http://www.cybernet.co.jp/spaceclaim/>

e-mail:scsales@cybernet.co.jp

お問い合わせ先:

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-1-10  
TUGビル8F

株式会社 CAEソリューションズ

TEL.03-3514-1506 FAX.03-3514-1507

<http://www.cae-sc.com>